

尿毒症

★尿毒症とは？

腎臓、尿管、膀胱のどれかに機能障害が起こり、尿を排泄できなくなり、老廃物が体内に蓄積される状態です。

★原因

腎臓、尿道、膀胱の障害により起こります。特に雄は、尿毒症になりやすいと言われています。

◎食肉検査で発見されたら？

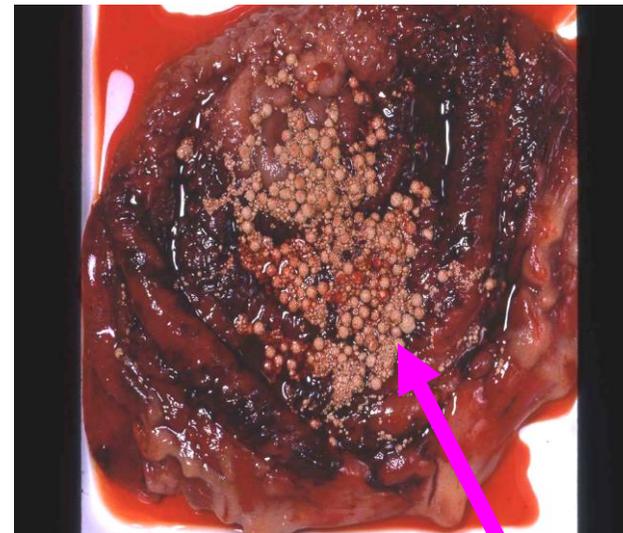
生体検査で発見された時は、**とさつ禁止**です。内臓検査で疑われた場合は、精密検査等を実施し、検査結果によっては、**全部廃棄**となります。

★症状

排尿不良状態、下腹部の浮腫、神経症状、さらに口腔等からの尿臭などがみられます。



膀胱炎: 炎症のため、膀胱粘膜が赤くなっています。



膀胱結石: 膀胱内に石の様な粒ができています。

◆ 予防・対策

尿石症予防

十分な給水を心掛け、粗飼料の給与を増して、ビタミンA剤を給与します。また、塩化アンモニウムの給与も予防対策効果があります。

リーフレットの内容に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

北海道東藻琴食肉衛生検査所

TEL 0152-66-2001 FAX 0152-66-3576

HP http://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/ds/hse_